



日本赤十字社

ご自由にお持ちください

秋田赤十字病院 広報紙

あいのまど

2015.4
Vol.19

困ったときはいつでもどうぞ！ 患者支援センターがスタートしました

みなさまは、このように感じたことはありませんか？



入院が決まったけれど、その説明を受ける
場所は・・・どこだったかな？

退院できるのはうれしいけど、医療費や
生活費、介護のことなど、これからの生活が
いろいろ心配・・・



家族ががんと診断されて頭がまっしろ!!
どうやってサポートしたらいい？



医師、看護師、医療ソーシャルワーカー、事務職員が
みなさまをサポートします。

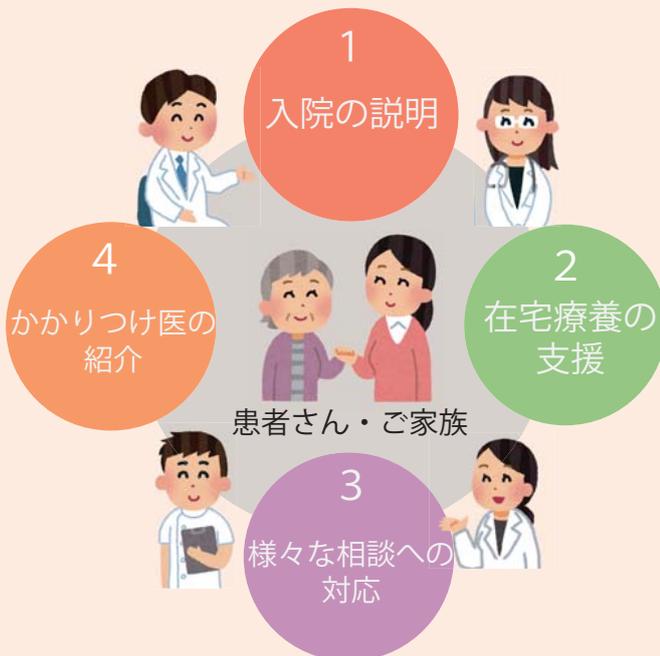


テープカットで業務開始！

これまでは、みなさまの相談内容に応じて、各担当の
部屋で対応していましたが、3月16日(月)より患者さ
んに対する様々な支援は「患者支援センター」で行って
います。場所は、1階薬局と入院受付の間の通路を進
んで、右側にあります。

当院は、病気を治療するだけの場所ではなく、患者さ
んとそのご家族が、治療の前後も含め、安心して生活し
ていくことができるよう、患者支援センターを中心とし
てみなさまのサポートに一層努めてまいります。

患者支援センターの主な業務内容



1 入院の説明

安心して入院生活を送ることができるよう、
入院の説明を行います。

2 在宅療養の支援

不安なく在宅生活を送ることができるよう、
在宅療養を支援します。

3 様々な相談への対応

医療・福祉相談、がん相談等
相談に応じます。



4 かかりつけ医の紹介

ご希望の地域・診療科・診療曜日などを伺い、
相応しいかかりつけ医を紹介します。

(かかりつけ医は、日常診療を通じて健康生活の
支えとなり、入院や検査が必要なおときには、
適切な病院へ紹介します。)

「あいのまど」とは……当院の病棟では個室も4床室も患者さん一人にひとつ窓があります。

その安らぎの療養環境からイメージを得て病院歌「愛の窓」が作られ、そこから着想したものです。

栄養課のお!てがるレシピ

菜の花とベーコンのガーリック炒め



菜の花は強い抗酸化力を持ち、老化防止や免疫維持に効果のあるβカロテンや、骨を丈夫に保つために必要なミネラルなどをバランスよく含んでいます！

材料(2人分)

菜の花	1束
ベーコン	2枚
スイートコーン(缶詰)	大さじ2
にんにく	1/2かけ
オリーブオイル	大さじ1/2
塩	少々
黒こしょう	少々

ひとことメモ

菜の花の独特のほろ苦さが苦手な方は、オリーブオイルを同量のバターに、塩を小さじ1杯のしょうゆに替えると食べやすくなります。

- 1 菜の花は硬い部分を取り除き、3 cm幅に切る。茎が太い場合はたて半分に切る。
- 2 ベーコンは短冊切りに、にんにくはみじん切りにする。
- 3 フライパンにベーコン、にんにく、オリーブオイルを入れて、弱火にかけ炒める。
- 4 香りが出てきたら、菜の花とコーンを加え、中火で炒める。
- 5 菜の花に火が通ったら、塩で味を調える。
- 6 器に盛り、黒こしょうをふりかけて出来上がり！



おたより

o!tayori

今年で秋田赤十字病院5年目となります

山形市の大学へ進学、卒業後は仙台市の病院に勤務してから故郷秋田へと帰ってまいりました。早いもので、当院リハビリテーション科に勤めて5年目になろうとしています。得意分野は呼吸のリハビリです。1日に約15人の入院患者さんを担当しています。

呼吸リハビリテーションとは

呼吸リハビリとは、病気や外傷によって呼吸器に障害が生じた患者さんに対して、可能な限り機能を回復し、あるいは維持することによって、症状を改善し、患者さん自身が自立した日常や社会生活を送れるように継続的に支援する医療です。

高度で安全なリハビリを目指して

現在は当院呼吸ケアチームの一員として、人工呼吸器管理をうけている集中治療中の患者さんや手術前後、呼吸器疾患、神経筋疾患などで呼吸が上手くできない、痰が上手に出せない、という患者さんのリハビリを支援しております。これまで以上に充実したリハビリを提供できるよう、日々努力していきたいと思っております。



From
理学療法士
伊東 一章

Kazuaki Ito

Profile

出身地
秋田市

趣味
今は育児
(毎日奮闘中)